

キャンプ実習 2022 報告書

(前段: 8月22日-25日; 後段: 9月5日-9月8日)

【はじめに】2022(令和4)年度は、新型コロナウイルス感染状況を踏まえてすべて日帰りのプログラムとなりました。実習は大学を拠点とし、実習日によっては学外で活動するプログラムを導入しました。

【Day1】はじめはグループ内にも”よそよそしさ”が見られましたが、アイスブレイクや共同作業(テント設営など)をこなしていくうえで、会話も笑顔も増えてきました。



【Day2】チームビルディングにグループ単位で参加することで、共同で一つのことに取り組む様子が見て取れました。グループ内の雰囲気は初日と比べても柔らかく、会話や笑顔がさらに多くみられるようになりました。

明日(Day3)に行うグループハイクの計画にも熱が入りました。



【Day3】グループハイクは、自然と触れ合うことを1つの目的として計画しました。班によっては動植物園、大濠公園、太宰府、ももち浜など、限られた予算をうまく使用してグループハイクのプログラムを立案・実行しました。



【Day4】グループハイクの発表会を行い、ハイクの内容を他のグループに報告してもらいました。実習最終日は、いずれのグループも、初日と比べると全く違う明るさや生き生きした表情が多くみられました。



【おわりに】本年は日帰りプログラムとなりましたが、キャンプ実習の目的である、自然とのふれあい、学生間の協調など、十分に達成できたのではないのでしょうか。本実習をきっかけにして、履修生の今後の学生生活や人生観が、より豊かになってくれることを願っています。